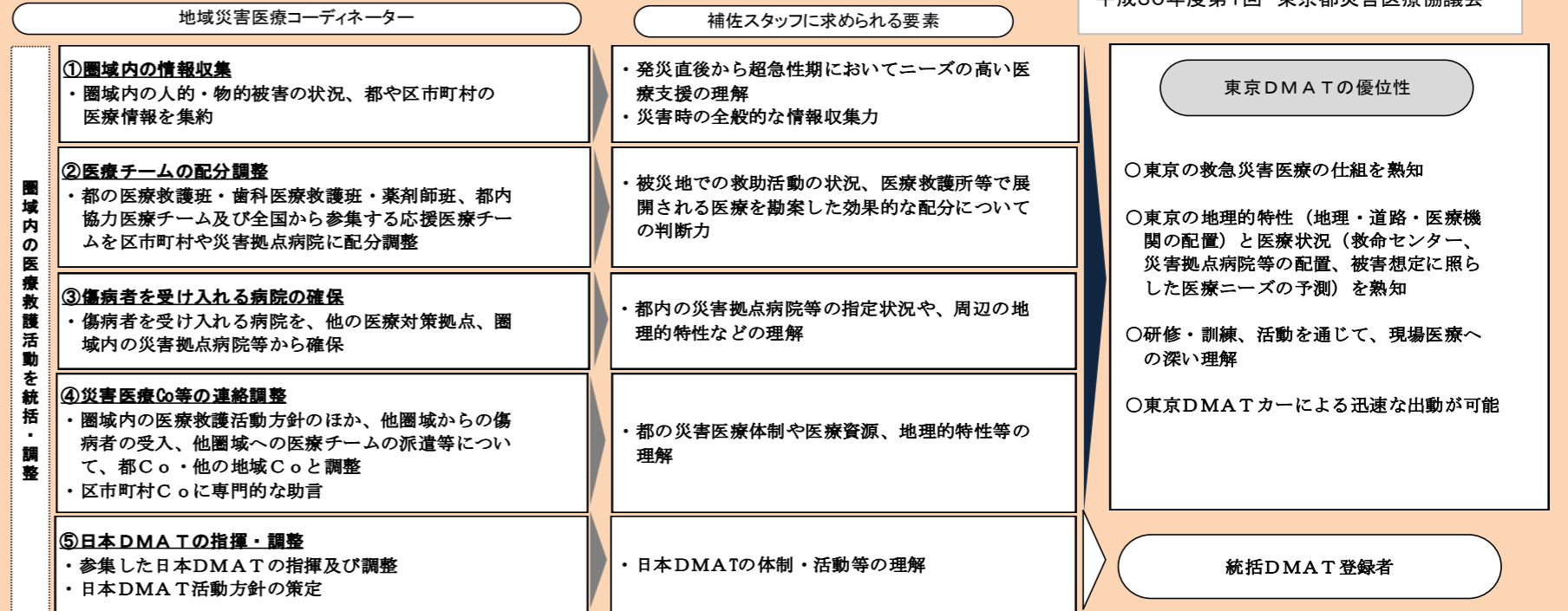


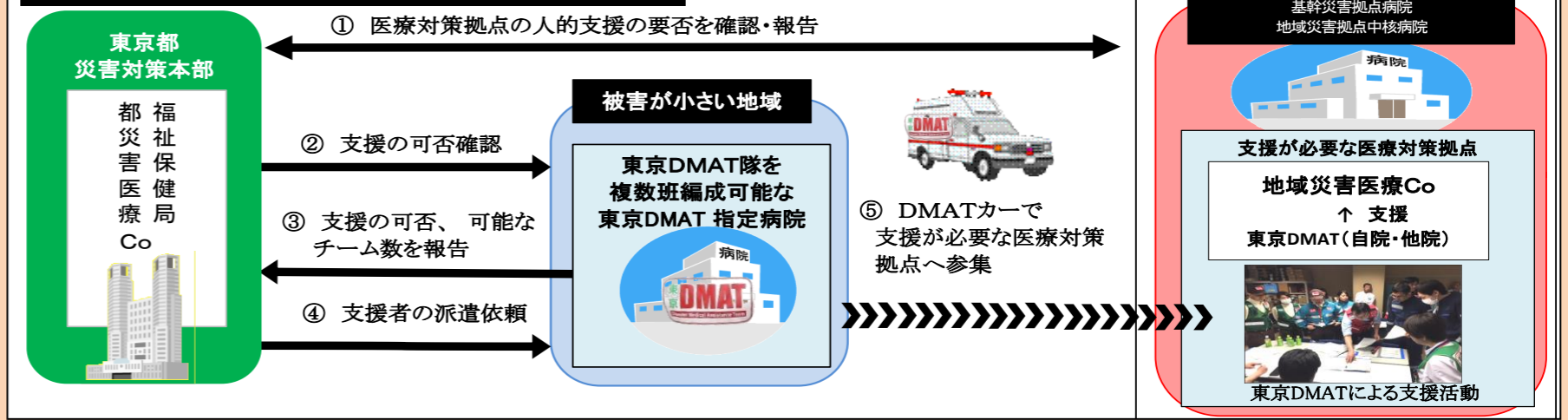
## I 経緯

1 医療対策拠点に係る会議等での意見		
H27. 3. 27	災害医療協議会	・医療対策拠点の役割が多い。少ない人数で機能するためには事前教育が重要。
H28. 3. 28	東京DMAT運営協議会	・地域災害医療コーディネーターとしても、東京DMAT有資格者が医療対策拠点に入ってもらうことは有効と考える。 ・大規模災害時の東京DMATの活動の検討では、災害医療協議会や災害医療コーディネーター部会等で全体の仕組みづくりを検討いただきたい。
H29. 5. 15	災害医療コーディネーター部会	・医療対策拠点は現状の人員体制では大変厳しい。運営体制の強化について、踏み込んだ検討が必要。
H29. 7. 24	災害医療協議会	・医療対策拠点の運営スタッフの役割が増している。また、運営スタッフの確保と育成が大事。
H29. 11. 12 H29. 12. 17 H30. 1. 21 H30. 2. 4	図上訓練 ・南多摩 ・区南部 ・区東北部 ・区西部	【圏域の主な意見】 医療対策拠点は人手が足りない。即戦力のある要員のサポートが必要。 【講師総括】 拠点を支える人的資源が不足している
H30. 4. 23	災害医療コーディネーター部会	・複数回の図上訓練の結果、フェーズ0期～1期の医療対策拠点の体制では大変厳しい状況になりそうということがわかった。
H30. 6. 22	東京DMAT企画・調整小委員会	・東京DMATが医療対策拠点を支援するのは非常に有効。 ・医療対策拠点に被害が小さい地域の病院から応援に来る仕組みは効果的。 ・自院の東京DMAT隊員が医療対策拠点を支援することも併せて必要。
H30. 7. 17	東京DMAT運営協議会	・基幹の災害基幹病院が被害を被っている場合に、コーディネーターの代わり、もしくはサポートする人員というのは、非常に大切である。 ・まず自院の東京DMAT資格者を地域災害医療コーディネーターのサポートに入れるようにするのが、第一に必要なことである。 ・東京DMAT隊員に対する教育の必要性について、災害対応をすることを勉強しており、訓練や院内の災害医療対応等に接していれば、自ずとできるようになるのが普通であって、特別に集めて教育をするシステムを作る必要はない。
H30. 9. 10	災害医療協議会	・今年3月に、都立広尾病院の訓練を見学したが、多摩地区から地域災害医療コーディネーターの東京DMAT隊員が、医療対策拠点支援に来たが、活動が見違えるようにスムーズに流れていた。医療対策拠点における地域災害医療コーディネーターの支援が役に立つということを感じた。

## II 検討 「医療対策拠点の地域災害医療コーディネーターを支援する方策の検討」



## 東京DMAT隊員における支援活動のイメージ



## III 今後の取組

### 1 要綱の改正

・現行の制度との整合性等が図られるよう、関係要綱を改正  
**【主な改正内容】**  
 医療対策拠点における地域災害医療Coへの支援について明文化  
 ⇒ ・既存の活動と医療対策拠点支援活動との明確な区分け  
 ・東京DMAT有資格者による医療対策拠点(自院・他院)の支援

### 2 災害時医療救護活動ガイドラインの改定

・次回改定時に医療対策拠点での支援活動を盛り込む

### 3 諸連絡等の様式の見直し

・医療対策拠点での支援活動を想定した訓練において様式を検証し、所要の変更を実施

### 4 教育の検討

○東京DMAT指定病院に所属する東京DMAT隊員による医療対策拠点支援活動を実現するため、教育体制を構築する。  
 ○研修内容・方法については、「活動・教育小委員会」で検討

- ・養成研修に必要な項目の追加
- ・都が実施する図上訓練等での演習の実施
- ・上記研修を修了した東京DMATのインストラクターによる院内研修での補充教養 等

### 【スケジュール案】

平成30年度(予定)									平成31年度	平成32年度以降	
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
企画・調整小委員会											
	運営協議会										
			災害医療協議会								
								東京DMAT運営協議会 災害医療協議会		体制確立	医療救護ガイドラインの改定等
								東京DMAT小委員会(企画調整・活動教育)			
						災害医療図上訓練(2月まで)			要綱改正		

### 【医療対策拠点における課題】

- ・医療対策拠点の役割は多く、地域災害医療Coが一人で統括・調整を行うことは困難
- ・特にフェーズ0から1の発災直後には、院内外からの支援が困難

### 【支援に向けた検討のポイント】

- ・地域災害医療Coを補佐するスタッフの確保
- ・補佐スタッフは都の地理的特性や災害医療体制への理解が必須
- ・参集のための移動手段の確保が必要

医療対策拠点の充実強化を図るため、東京DMATの活用を検討